

令和2年度 社会福祉法人白老町社会福祉協議会事業計画書

基本方針

超高齢化・人口減少社会を迎え、誰もが安心して地域で暮らし続けるためには、医療や介護の充実だけでなく、それぞれの地域に合った方法で地域福祉活動をすすめて、「地域共生社会」を実現することが求められております。

その実現には、住民と福祉関係者がともに地域住民の課題を「我が事」として受け止め、解決していく地域力が求められます。

こうした中で、地域福祉の推進を使命とする社会福祉協議会の役割は、一段と大きくなってきており、着実・計画的に地域福祉を推進する事業を実施していくために第5期地域福祉実践計画を策定致しました。

令和2年度はこの「第5期地域福祉実践計画」の初年度に当たります。第5期地域福祉実践計画の「ともに支え合う安心・安全・福祉のまちづくり」の基本目標の下、五つの重点目標の達成に向けて職員一丸となって取り組んでまいります。

- 1 本年度は白老町から新規事業として生活支援コーディネーター事業を受託します。地域で暮らす高齢者の生活を支えるために、住民の互助として行われているサービスなども含めて町内の資源を把握し、地域のなかで互助を基本とした生活支援・介護予防サービスが創出されるような取組を進めてまいります。
- 2 町内における介護や地域福祉の担い手の確保は、年々厳しさを増してきております。当会ではこの問題の解決のために、今年度から時間数が短くより受講のためのハードルが低い介護入門的研修を新規事業として実施し、多様な人材の介護分野への参入促進を図ります。

- 3 昨年日本を襲った台風を始めとする自然災害は、改めて非常災害が他人事ではないことを痛感させました。昨年度から白老町の防災事業に共に取り組むなどの事業を実施してきましたが、今年は更に災害時行動マニュアルの作成や福祉避難所運営支援の協議、具体的な災害ボランティアセンター設立の準備をすすめてまいります。また災害時に当会の各種事業が継続・復旧できる必要な体制の整備も、更に具体的にすすめてまいります。

- 4 当会が運営する介護事業所は、利用者の減少や介護職員の確保の問題などから多額の支出超過に陥っています。本年度は新規利用者確保のための営業活動を強化して利用者の増加を目指すと共に、経費の削減に努めます。また事業内容の見直しも図り、持続可能な介護事業の在り方を検討してまいります。

- 5 当会の自主財源が不足している問題に関しても、より計画的・積極的に寄付を集める手法を学びながら拡大に努め、引き続き経費の削減に取り組んでいきます。更に事業内容を抜本的に見直し、財源に見合った事業内に変更するなどして経営の改善をすすめてまいります。